

令和3年度「静岡大学における内部質保証に関する方針」に基づく自己点検・評価結果に対する改善策

No.	改善事項	対応計画	実施時期	推進責任者
1	教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の確認及び改正 【全学教育内部質保証委員会】	<p>全学教育内部質保証委員会が実施した令和3年度の自己点検・評価において、教育課程編成・実施の方針が、中央教育審議会のガイドラインで示されている3つの事項（①教育課程の編成の方針、②教育課程における教育・学習方法に関する方針、③学修成果の評価の方針）が明確かつ具体的に明示されていない部局があることが確認されたことから、教育課程編成・実施の方針について確認及び改正をする必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 他大学の教育課程編成・実施の方針を調査する。 2. ①～③の各方針が明確かつ具体的に明示するための全学的な対応方針を決定する。 3. 全学で決定した対応方針を踏まえ、各部局で改正について検討する。 4. 各部局での検討結果を全学教育内部質保証員会で確認の上、改正する。 	令和4年度	全学教育基盤機構長
2	カリキュラム・ツリーの策定状況を確認し、全学としての策定方針を検討 【全学教育内部質保証委員会】	<p>全学教育内部質保証委員会が実施した令和3年度の自己点検・評価において、カリキュラム・マップでは、授業科目の履修順序や授業科目間の相関関係を明示することやその検証には不十分であることが確認された。「学修者本位の教育の実現」の観点から、体系的に教育課程を編成することについて重要性が高まっており、学位取得に至る履修順序の可視化や授業科目間の相関関係を学生に明示することが必要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 他大学のカリキュラム・ツリーの作成状況を調査する。 2. 各学部のカリキュラム・ツリーの作成状況について確認する。 3. 全学的にカリキュラム・ツリーに盛り込むべき要素について方針を決定する。 	令和4年度	全学教育基盤機構長

3	<p>全学的なシラバスの点検</p> <p>【全学教育内部質保証委員会】</p>	<p>全学教育内部質保証委員会が実施した令和3年度の自己点検・評価において、記載内容が不十分なシラバスがあることが確認された。「半期15週16回授業の実施方針」等に基づきシラバスが策定されていることを全学的に確認する必要がある。</p> <p>1. 各部局の内部質保証委員を中心に、シラバスの点検を実施し、正しく記載がされていないシラバスは担当教員へ修正を依頼する。</p> <p>2. 本委員会において、全シラバスが正しく記載されたことを確認する。</p>	令和4年度	全学教育基盤機構長
4	<p>成績評価分布の検証</p> <p>【全学教育内部質保証委員会】</p>	<p>全学教育内部質保証委員会が実施した令和3年度の自己点検・評価において、授業科目ごとの成績分布を調査した上で、授業内容の水準や授業方法、成績評価の適正化を図ることにより、成績評価の信頼性を確保する必要があることが確認された。</p> <p>学内外におけるGPAを活用した取組み（就学支援、就職活動等）の増加によって、学生の成績評価に対する意識が高まっており、大学としても成績評価に関してのルール等を点検することが求められている。</p> <p>令和3年度に「静岡大学単位認定等に関する規程」を改正し、成績評価の基準を明確にしたが、成績評価の分布状況を確認し、成績評価が適正に実施されていることを組織的に検証することが必要である。</p> <p>1. 部局の教育内部質保証委員会において、成績評価ごとの人数、成績評価ごとの履修者割合分布の分析及び検証を行う。</p> <p>2. 上記の分析及び検証結果を踏まえ、授業内容の水準や授業方法、成績評価の適正化を図る。</p>	令和4年度	全学教育基盤機構長
5	<p>就職相談室について、稼働率を含めた利用状況のデータ収集はしているが、加えて昨今の就職活動状況の変化に対応しているかどうか</p>	<p>就職相談室に関する学生のニーズを把握し改善につなげるため、</p> <p>1. 質問事項等調査する内容の検討を行う。</p> <p>2. 就職相談室利用者にアンケート調査を実施する。</p>	令和4年度	全学教育基盤機構長

	<p>かを確認する必要がある。</p> <p>利用者が何を求めて相談室を利用しているのか、利用して満足している点や不満な点、今後の要望などについて利用者にアンケート調査を行い、今後の運営の改善点を探る。</p> <p>【全学キャリアサポート委員会】</p>	<p>3. 調査結果を精査し、今後の就職相談室運営の改善点を検討する。</p>		
6	<p>【学生相談体制の充実、環境整備】</p> <p>平成30年度、令和元年度実施組織評価結果に基づき、令和2年度、令和3年度に学生相談体制の充実に向け、改善を行ってきたところであるが、まだ十分とは言えない。</p> <p>また、第4期中期計画番号5では多様な背景を持つ学生が安心して学べる環境を整備するため、学生が交流する場や相談機能を含めた学生支援体制へと拡充・発展させると記載がある。令和4年度は実施体制を整えるため、場所や人など基盤となる環境整備に取り組む。</p> <p>【学生相談委員会】</p>	<p>静岡キャンパスにおいて、主に相談室や学生が交流等する場などの施設整備に取り組む。</p> <p>静岡・浜松両キャンパスにおいて、カウンセラーの安定的配置を検討し、人員体制拡充及び予算措置の要望を通して実現可能なものから実施する。</p> <p>両キャンパスにおける相談体制の格差を改善するため、浜松キャンパスへ新たなカウンセラーの配置を検討し、体制強化に取り組む。</p>	令和4年度	全学教育基盤機構長
7	<p>【学生への継続的な経済的支援】</p> <p>令和3年度監事業務監査において、監事からコロナによる活動制限の長期化に伴う学生への深刻な影響が懸念されるため、経済面を含めた幅広い支援の継続について要望が出さ</p>	<p>昨年度までの学生への経済的支援状況を確認するとともに、助成金等を利用したコロナ禍により経済的な影響を受けた学生への支援事業、及び未来創成基金を活用した経済的に困窮する学生を支援するための貸付事業を継続して、実施する。</p>	令和4年度	全学教育基盤機構長

	<p>れた。学生への経済的支援は昨年度も取り組んだ事項ではあるが、コロナ感染症の終息が見えない中、引き続き支援について検討を行う。</p> <p>【全学学生委員会】</p>			
8	<p>【障害学生支援に関する教職員向け研修・啓発活動】</p> <p>コロナ禍の影響により、令和2・3年度は障害学生支援講演会を開催できなかった。教職員の障害学生支援に関する理解を深めるため、昨年度に引き続き、研修・啓発活動を計画し、実施していく。</p> <p>【障害学生支援委員会】</p>	<p>教職員の障害学生支援に関する理解を深めるため、以下の研修・啓発活動を計画し、実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新任教職員に対し、本学の障害のある学生の状況、支援内容、支援体制について、理解を促す研修又は啓発の機会を設ける。 2. 新規に選出された部局監督者に対し、研修の機会を設ける。 3. 本学教職員及び県内大学等の障害学生支援関係者向けに、外部講師による「公開講演会」を開催する。 4. 令和4年3月に作成・配信した、音声付の教職員研修資料（基礎編）に続く応用編となる資料を作成・配信する。 	令和4年度	全学教育基盤機構長
9	<p>夏季オープンキャンパスのハイブリッド化</p> <p>【全学入試委員会】</p>	<p>直近4年間の一般選抜入試の志願者は減少傾向にある。志願者確保のための広報活動の一環として実施している本学の夏季オープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ここ2年は一部を除き、感染リスクの回避を優先としたオンラインのみの実施となっていた。</p> <p>学部・学科説明などは対面で実施するよりも、オンデマンド動画の方が、感染リスクを回避できるだけでなく、視聴者にとっては利便性が高いが、研究室訪問などの体験は、オンラインでは伝わりにくいものである。</p> <p>コロナ禍は今後予測できない部分はあるが、令和4年度の夏季オープンキャンパスは、オンラインと対面を適宜組み合わせることを検討し、実施する。結果、本学がよりよく知られるようになり、志願者が確保できることを</p>	令和4年度	全学教育基盤機構長

		<p>期待する。</p> <p>なお、対面部分については、参加対象者に制限を設けなければ、これまでの傾向から、1・2年生が主となることが予想される。今の高校3年生は、1年次からコロナ禍の中、高校生活を送ってきているため、人数や対象者を制限する場合は、高校3年生を優先するなどの対策も併せて検討する。</p>		
10	<p>大学院入試の入試事故の再発防止</p> <p>【大学院教務・入試委員会】</p>	<p>令和3年度大学院入試において入試事故が発生したことを確認し、入試事故の再発防止策を部局等で定めているが、令和4年度入試において、実際に防止策を実施しているか部局及び本委員会において確認する。また、本委員会において、入試事故が発生することのないよう注意喚起を行う。</p>	令和4年度	全学教育基盤機構長
11	<p>入学定員充足率の適正化</p> <p>【大学院教務・入試委員会】</p>	<p>平成29年度から令和3年度の入学定員充足率の平均が1.3倍以上である部局を確認したため、今後の入試において入学定員充足率（過去5年平均値）が、「1.3倍未満、0.7倍以上」となるよう、毎年度、本委員会において注意喚起を行う。</p>	令和4年度	全学教育基盤機構長
12	<p>アジア・ブリッジプログラムの「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」を明示的に定める。</p>	<p>「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」を作成の上、全学ABP委員会で諮った上で、次回の募集要項に反映する。</p>	令和4年度	国際連携推進機構長
13	<p>アジア・ブリッジプログラムの受入を検証する取組や、結果を入学者選抜の改善につなげる制度・体制をつくる。</p>	<p>関係委員会を通じて、制度・体制作りを進める。</p>	令和4年度	国際連携推進機構長
14	<p>留学生を含む学生の受入に関して、教室ではない学生も活用するスペース（国際課のオフィス、共通教育A棟5階、浜松国際交流ラウンジなど）のWi-Fi設備を設置又は強化する。</p>	<p>機構・国際課で検討し、設置・拡充する。</p>	令和4年度	国際連携推進機構長

15	教育の国際化に向けた活動の改善のための取り組みを確実に実施していく。	アンケートの結果を反映させ、教育の質の向上や改善に結び付ける継続的な取組のサイクルを国際連携推進機構で作成し、実施する。	令和4年度	国際連携推進機構長
16	図書館開館時間等の検討	図書館利用状況とコストを考慮した図書館開館時間の検討、及びオンライン等による非来館型図書館サービス強化について検討する。	令和4年度	附属図書館長
17	2021年度「学びの実態調査」学生要望一覧では、Wi-Fi環境の整備、インターネット環境の整備の要望があったことから、Wi-Fi環境の整備を行う。	次期情報基盤システムの更新の際に、Wi-Fi回線の更改及びWi-Fi上流の末端スイッチについて、性能の向上を図る。	令和5年度	情報戦略委員会委員長
18	令和2年2月開催の第5回情報戦略委員会にて、教育用ソフトウェアにおいて契約内容を検討し、情報基盤の効率化を進める旨の意見が出されたことから、教育用ソフトウェアの更新について、検討する。	実習室で使用されているパソコンやそのパソコンにインストールされている教育用ソフトウェアについて、本学教員からの意見を加味しながら現在の契約内容の見直しを行い、教育に必要なソフトウェアへの更新・導入を進める。	令和5年度	情報戦略委員会委員長
19	静岡キャンパスの共通講義棟の整備計画	静岡キャンパスの再開発整備の第一弾として、最も老朽化が進んでいる共通教育棟と、新学部「グローバル共創科学部（仮称）」の設置を踏まえ、講義スペースの集約化や運用面の効率化を図るため、『共通講義棟の整備』を一体的に検討し、提案する。	令和4年度	施設・環境マネジメント委員長